

令和 3 年 5 月 20 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H01021

研究課題名(和文) 対応困難な保護者とのトラブル事例分析と紛争化の防止及び解決支援に関する学際的研究

研究課題名(英文) Interdisciplinary Research on "Parent-school Conflict" Case Studies and Dispute Prevention and Resolution

研究代表者

小野田 正利 (Onoda, Masatoshi)

大阪大学・人間科学研究科・名誉教授

研究者番号：60169349

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 30,600,000円

研究成果の概要(和文)：学校と保護者の間には良好な関係の構築が必要であるが、時として対立関係や紛争状態になることが珍しくはなくなった。この現象を表す「保護者対応トラブル」という用語は、学術の世界でも教育政策の分野でも認知される段階に達した。

本研究は、教育学だけでなく、30余名の精神医学、臨床心理学、法律学、福祉学などの多様な学問領域の専門家から構成する「学校保護者関係研究会」を組織して研究を進めていった。

保護者の学校に対する要求水準が高まり、法知識が豊富になり、学校との交渉術が巧妙になる一方で、学校側が旧態依然とした情緒的な対応を繰り返すことが多いため、紛争解決が極めて困難になっている実態が全国各地で起きている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、すでに学校問題の一つにラインナップされた「保護者対応トラブル」について、すなわち学校・教師と保護者の間に生じる紛争やトラブルを、どのようにして防止できるか、あるいは問題状況を拡大させないようにするかについて、学際的な研究をおこなったものである。

すでに20年前に提起されたこの問題現象は、この数年で保護者側の知識と行動力が格段に進歩する中で学校側が窮地に陥り、ひとたびそのような紛争状態が発生すると、教職員のメンタルヘルスにも学校運営にも大きな支障となる。このため今後は、場当たりの対応ではなく、教職員側が法的知識を基盤とした誠実な対応力を備えることが最も重要なことになる。

研究成果の概要(英文)： Build a good parent-school relationship must be needed. However, it is not uncommon to hear that the parents and the school confront or disputes each other. The term "parent-school conflict" which describes this phenomenon, has reached a stage where it is recognized both in the academic world and in the field of education policy.

To proceed with this research, "Parent-school Relationship Research Group " was organized, which consisting of more than 30 experts, not only in the field of pedagogy, but in various academic fields such as psychiatry, clinical psychology, law, and welfare studies.

While parent's demands on schools are increasing significantly, their legal knowledge has increased and their negotiation techniques with schools have become more sophisticated, dispute resolution is extremely difficult because schools often repeat old-fashioned emotional responses. The reality of this difficulty is occurring all over the country.

研究分野：教育制度学

キーワード：保護者対応 学校トラブル 苦情対応 紛争処理 学校危機 苦情・クレーム 無理難題要求 トラブル処理

## 1. 研究開始当初の背景

(1)2016年10月7日の閣議決定で「教育再生実行会議」の新テーマとして「学校・家庭・地域の役割分担と教育力の充実について」が設定されたが、その背景には、教師の業務の過重性とメンタルヘルスの問題が、相当に深刻であるという現実がある。そして、いじめ、不登校や貧困問題、障がいのある子や外国人児童の増加という「子ども」に関わる課題が複雑・困難化していることと並行して、明確に「保護者等からの要望への対応など教師の負担が増大している」ことが学校の活力を失わせることにつながり、このままでは「教育の持続的な発展は困難であると言わざるをえない」という認識が明言された(国の重要政策文書としては初の、同時に極めて重要な位置づけ)。

(2)その背景には、2016年6月17日に文部科学省のタスクフォースによる「学校現場における業務の適正化に向けて(通知)」がある。「中でも、とりわけ教職員の負担が大きい保護者等からの要望等への対応のために、教育委員会に学校を支える体制を構築する支援策を実行に移したほか」、今後において国は「保護者や地域からの要望等に対応するため、弁護士等の専門家から支援を受けたり、専門的な知見を直接聞くことができる仕組みを教育委員会が構築することを支援」し、教委は、その仕組みの構築のほか「関係機関等と連携し、実例等に基づき、不当な要望等への対応について研修を実施する」ことが必要であるとの切迫した危機感があった。

(3)このような実態を概括的なエビデンスとして示したものが、2015年7月の文科省による「学校現場における業務改善のためのガイドライン～子供と向き合う時間の確保を目指して」である。その中で「学校の運営に関する業務」における教職員の困惑度あるいは負担度合い(従事率×負担感率)において、「保護者・地域からの要望や苦情への対応」は最上位に位置し、小学校および中学校の副校長・教頭で第2位の60.0%と63.2%、小学校教諭では第2位の54.8%、そして中学校教諭では第1位の49.8%に達している。また文科省「教職員のメンタルヘルス対策について」(最終まとめ、2013年3月)でも、校長のストレス要因として「学校経営」に並ぶ第2位に「保護者への対応」がある。

## 2. 研究の目的

(1)研究代表者は「保護者対応問題」に先駆的に取り組んできた(『悲鳴をあげる学校』旬報社、2006年、『親はモンスターじゃない!』学事出版、2008年、『イチャモン研究会』ミネルヴァ書房、2009年、『普通の教師が普通に生きる学校』時事通信出版社、2013年、『それでも親はモンスターじゃない!』学事出版、2015年)。そして研究グループは、過去10年以上にわたって、各地の教委や教育センターと共同で、数多くの「保護者対応の手引き」作成協力や、約500箇所「保護者との関係づくり」の研修(講座やワークショップ)を実施し、相当な成果を収めてきた。同時に、科研費・基盤研究(B)「学校における保護者対応の現状分析と良好な関係性の構築に関する総合的研究」(2006年～2008年)、基盤研究(A)「保護者-学校間の困難状況解決のためのサポート体制構築に関する学際的・総合的研究」(2009年～2012年)、基盤研究(A)「対保護者トラブルの予防と解決のための研修プログラムの構築と効果に関する学際的研究」(2013年～2016年)による成果を積み上げてきた。

(2)しかし「学校と保護者の関係づくり」は、残念ながら悪化の一途をたどり、質的にも大きく変化している。昨今では、仮にクレーム・苦情から始まるにせよ、それがトラブルに発展し紛争状態になることが、都市部では頻発し、農山村部においても決して例外的状況ではなくなっている。なお「解決困難なケース」とは、理不尽な要求等が繰り返し行われ、かつ学校での対応には時間的・精神的に限界があること」を指す。2008年の東京都教委の調査では、2418校園中234(9.7%)であったが、研究代表者による調査(2012年)では、全国の学校管理職6,685人中1,571人(23.5%)に達し(『内外教育』第6198号、pp.4-5)、地域や学校種を問わず全国各地で発生している。

(3)研究代表者は、対応や解決が困難となるケースは、現段階としては【表】のように整理することが可能なように考える。むろん事例によってかなりの幅はあるが、普通にコミュニケーションをとることが難しく、解決に向けての話し合いが不可能な事態に陥り、単にトラブル(終結)が長期化するだけでなく、当事者が混迷し疲弊感を高めていく。

表：対応困難となる保護者対応トラブルの分類(研究代表者作成)

対応困難なケースの特徴	推定される背景要因	対応のポイント
感情の起伏が激しく、長時間の話し合いを余儀なくされるなど、コミュニケーション	保護者が生きづらさや葛藤など「メンタル面での不安定さ」(精神性疾患や性格の	適切な接し方と適度な距離(場所、時間、人数の設定)。必要に応じて医療・心理・福

ンの取り方が難しい。	偏りなども含まれる)を抱えている。	社の専門家との連携を図る。
暴行・脅迫などの違法行為や、法外な慰謝料請求など不当要求に発展してしまう。	経済的な困窮や、職場や子育てあるいは家庭周辺での苛立ちが学校に向かう。	毅然とした対応と記録化。明確な違法行為は、弁護士や警察との連携を図る。
話し合いを重ねても、主訴(最も重要な部分)が見えにくく、堂々巡りの議論となり、解決の出口が見つからない。	そのトラブルがポイントではなく、過去の様々なトラウマが背景要因にある(怒りの導火線が、どこかで爆発する)。	目の前のトラブルへの対処ではなく、話を聞きながら怒りの原因を教職員が探る。対立ではなく対話の場を設定。

(4)本研究ではこういった「対応困難なトラブル」の緩和と解決のために、いくつかのケース分析をおこない、トラブルのアセスメントとプランニングのあり方を検討し、紛争状態に発展させないためのシステムづくりを構築する。

### 3. 研究の方法

(1)「保護者対応トラブル」が他分野のトラブルや紛争と最も異なるのは、保護者と教職員の関係が悪化したとしても、その子どもはなおもその学校に通い続ける(在籍している)という点にあり、総合科学的な検討を必要とする。教育学だけでなく臨床心理学・精神医学、社会福祉学、法律学、危機管理学などの研究者を含めた、研究分担者19名、研究協力者18名の学際的な研究組織の特性を生かした研究をすすめる。

(2)研究課題のキーワードである「対応困難なケース」は、「研究の目的」欄で述べたように、その現象面に着目すれば基本的に次の3つである。1)話し合いにならず、コミュニケーションがとれないケース、2)違法行為や不当要求に発展してしまうケース、3)表面に現れた対立点の解消が主訴ではなく、紛争状態の根本に保護者自身を取り巻く他の要因や過去の重大体験が隠されているケース。

このためにはまず、最初の保護者のクレーム・苦情の発出から、学校側の「見立て」が不十分で対応の軸がぶれていくことで、トラブルへと発展し紛争へと悪化するプロセスの典型的事例を分析整理することが必要である。そして、それぞれのステージ(段階)で、「何を」「誰(学校外の機関を含めて)とともに」「どのように連携して」対応することで、ステージアップ(悪化)を防ぐことが可能となるのかの、具体的な究明とその対応策の学校現場への普及が求められていると考える。

(3)研究組織を、現象と背景を分析する班と、解決システム、学校のメンタル予防を中心とした班に分けて研究をおこない、同時に実践的な試みを全国各地で繰り返しながら研究目的を遂行する。研究総会を毎年度2回ほど開催し、当該事例の関係者からの聴き取り調査をおこない、研究の枠組みの構築に務める。

(4)また、研究成果の社会への還元に努めるために、研究組織として各種の団体(教育委員会、校長会、研究協議会、組合など)との協力のもとに、全国のいくつかの地点で研究集会を開催する。あわせて研究会メンバーが、それぞれの研究拠点で具体的な「対応困難な保護者対応トラブル」の事例相談に乗りながら、データ収集をおこなう。

### 4. 研究成果

(1)研究代表者と研究分担者および研究協力者で構成する組織を「学校保護者関係研究会」とした。これら総勢30余名が集まる研究総会は、平成29年度に3回、30年度に1回、令和元年度に2回、の計6回開催し、多様な学問分野の専門家による意見交換の場とすることができた(但し、令和2年度はコロナ感染症拡大の影響があって開催できなかった)。このほか、それぞれの小グループで個別の課題検討がおこなわれている。

(2)「研究の方法」欄の(4)に示した研究成果の社会への還元としては、兵庫県尼崎市教育委員会、富山市教育委員会、および日本学校教育相談学会(札幌)との共催によって「先生を元気にする集い」を、それぞれの当地において開催し、参加した数百名の学校関係者に対して講演およびワークショップを通して、難しくなる保護者対応トラブルの解決方法について専門的知見の普及をおこなうことができた。あわせて(1)の研究総会に前後して、大阪大学人間科学部を会場にして、極めて深刻となっている保護者対応トラブルに関する個別の課題として「学校部活動と保護者対応」「学校事故被害者遺族と学校の対応」「学校部活動と近隣トラブル」「SNSが関わるいじめと保護者対応トラブル」のテーマを掲げた「半公開学習会」(研究会メンバーと、関心を

持つ一般市民・教職員の学習交流の場)を開催し、重要な成果の普及に努めることができた。

(3)そのほか、研究代表者、研究分担者および研究協力者の執筆による論文等については「研究発表の入力欄」に記載の通り、極めて多数にのぼる。また多数の研究会メンバーが、依頼されて全国各地で、その研究成果を計 300 回以上の講演や研修会講師という形で情報発信をしたり、研究データとして蓄積してきた。

(4)総論的な結論ではあるが、残念なことに、学校と保護者の間に生じる難しい関係と紛争状態、いわゆる「保護者対応トラブル」は、いまや地域や学校種を問わず全国各地で数多く発生し、収束や解決の目途がたたないまま、保護者の側はいらだちを高め、教職員の側は対応に窮するなど疲弊の極致にある。特にその中で近年目立つのは、20 年ほど前までは中心を占めていた自子中心主義(自分の子どものことを第一に考える)的な要求は少なくなり、他の子どもとの人間関係上の摩擦に関する「わが子が少しでも不利に扱われているか、いないか」について極めて敏感となった要求が増え始めていることにある。この背景には「いじめ防止対策推進法」の存在がある。

加えて、保護者はインターネット情報を含めて知識を豊富にし、学校との交渉の仕方を学習しているにも関わらず、教職員の側がそれに追いついておらず、従来型の「情緒的な」対応を繰り返すことでのごうとしている。保護者の不満や要求の出し方や交渉の方法は激変し、学校が当初想定している内容をはるかに超えて、展開のスピードも極めて速くなり、あっという間に窮地に陥ることも珍しくはなくなった。学校だけの人的資源では何ともしがたい難しいトラブルに発展することから、教育委員会や法律・心理・福祉の専門家の援助が確実に必要なケースが増えた。学校は単に保護者との話し合いの仕方を工夫するだけでなく、「法的知識を基盤とした誠実な対応」を必要とする時代に入ったといえる。

(5)そういった意味で、すでに「ステージが上がった」状態にある対応困難な保護者対応トラブルに関して学校側が持つべき打開策は、一般的な研修での対応力の向上ではなくなったように思う。むしろ、学校そのものに直接に出向きながら、個別具体的なケース分析と相談活動を通しての研究であると考え。このため研究代表者は、さらに基盤研究(B)「深刻化する対応困難な保護者対応トラブルの事例研究を通しての紛争拡大防止の理論構築」の申請をした。幸いなことにこの課題が採択されたので、これまでの成果をさらに発展させるべく、これから4年間にわたって継続的な研究に取り組む。

(6)なお、この科学研究のために集ったメンバーがそれぞれの論文を執筆し、それらをまとめた最終的な出版物として『イチャモン研究会』および『イチャモン研究会』を刊行する予定で、調整に入っている(なお、この書名は、最初の大型科研費による研究会組織による成果として、小野田正利編著『イチャモン研究会 学校と保護者のいい関係づくりへ』(ミネルヴァ書房、2009年)を発行したことに由来する)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計163件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻2号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン（第167回）改善の兆しが見えない保護者対応トラブル（1）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育（学事出版）	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻3号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン（第168回）改善の兆しが見えない保護者対応トラブル（2）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育（学事出版）	6. 最初と最後の頁 70-73
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6793
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて（第418回）いじめ法の放置から6年（5）保護者どうしのトラブル（1）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育（時事通信社）	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6794
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて（第419回）いじめ法の放置から6年（6）保護者どうしのトラブル（2）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育（時事通信社）	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6759
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第400回)職員室の白い丸いテーブル(1)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6761
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第401回)職員室の白い丸いテーブル(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6762
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第402回)職員室の白い丸いテーブル(3)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6746
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第392回)「1日7分・10分」の謎解き	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 52巻6号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(第158回)ゼロトレ・数値目標管理・スタンダード化(2)クレーム対応から親指導へ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊高校教育(学事出版)	6. 最初と最後の頁 74-77
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6742
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第389回)保護者をリスペクトする	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6740
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第388回)保護者にビビる若い教師へ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤晴雄	4. 巻 23巻11号
2. 論文標題 地域とともにある学校：コミュニティ・スクールの現状と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊プリンシプル(学事出版)	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野田正人	4. 巻 67巻8号
2. 論文標題 学校はいじめをどう見抜き対応するのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育と医学（慶応大学出版会）	6. 最初と最後の頁 664-669
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川治	4. 巻 490
2. 論文標題 いじめ問題の増加と保護者からのクレーム対応	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本教育（日本教育会）	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 745
2. 論文標題 家族のなかで傷つく子どもと生活指導：「愛着のつまずき」の問題に視点を当てて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生活指導（全国生活指導研究協議会）	6. 最初と最後の頁 36-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和井田節子	4. 巻 34巻4号
2. 論文標題 お互いの頑張りを認め合い、元気の出る振り返りを	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊学校教育相談	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 岩田康之	4. 巻 880
2. 論文標題 国際比較にみる教育実習の日本的構造	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育（教育科学研究会）	6. 最初と最後の頁 19-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村有吾、岩切昌宏	4. 巻 61巻10号
2. 論文標題 トラウマセンシティブスクール：全児童生徒の安心感を高めるアプローチ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神医学（医学書院）	6. 最初と最後の頁 1135-1142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山野則子	4. 巻 61巻5号
2. 論文標題 学校組織が生みやすい不祥事を防ぐために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学校運営（全国公立学校教頭会）	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧野揚三	4. 巻 67巻5号
2. 論文標題 学校危機への備え	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育と医学（慶応義塾大学出版会）	6. 最初と最後の頁 358-367
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井肇	4. 巻 1550
2. 論文標題 管理職必携 安心・安全の新常識 いじめ問題の解決に向けてのアプローチ いじめをしない子どもを育てる(上)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 週刊教育資料(教育公論社)	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井肇	4. 巻 1553
2. 論文標題 管理職必携 安心・安全の新常識 いじめ問題の解決に向けてのアプローチ いじめをしない子どもを育てる(下)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 週刊教育資料(教育公論社)	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本洋治・岩永定	4. 巻 140
2. 論文標題 学校教育への保護者参加の効果と参加意欲に関する研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代と文化：日本福祉大学研究紀要(日本福祉大学福祉社会開発研究所)	6. 最初と最後の頁 21-31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 入澤充	4. 巻 202
2. 論文標題 「虐待から子どもを守る学校へ」特集するにあたって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊教育法(エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里	4. 巻 202
2. 論文標題 虐待から子どもを守る学校組織をつくる	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊教育法 (エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 16-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関根真一	4. 巻 72巻4号
2. 論文標題 「食べ物はどこで食べようが8%、他は10%」とした方がいい：そうでないと、今後税率をいじるようになりまた「苦情のもと」をつくることになる	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 商業界 (商業界)	6. 最初と最後の頁 15-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 23巻12号
2. 論文標題 「法化社会」におけるいじめ問題への対応：法的手段に訴えられる前に学校がやること	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊プリンシパル (学事出版)	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 49巻9号
2. 論文標題 学校における危機管理とは	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊生徒指導	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 峯本耕治	4. 巻 719
2. 論文標題 虐待防止における司法の関わり：弁護士・スクールロイヤーに期待されること	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊自治研（自治労サービス）	6. 最初と最後の頁 33-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 51巻2号
2. 論文標題 たかが音、されど音 音楽は人を癒し、騒音は人を殺す	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 望星（東海教育研究所）	6. 最初と最後の頁 10-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 2号
2. 論文標題 騒音苦情への対処と心構え	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本部活動学会紀要（日本部活動学会）	6. 最初と最後の頁 59-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上麻紀	4. 巻 74巻9号
2. 論文標題 メンタルヘルスの最前線から 労いの言葉をかけ、話を聞き、弱音を吐ける学校をつくることが重要	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 総合教育技術（小学館）	6. 最初と最後の頁 48-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松丸正	4. 巻 1956
2. 論文標題 過労死弁護団創立三〇周年と過労死防止の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 労働法律旬報（旬報社）	6. 最初と最後の頁 7-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 工藤祥子・川人博	4. 巻 883
2. 論文標題 教員の過労死をなくすために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育（教育科学研究会）	6. 最初と最後の頁 27-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上恵	4. 巻 22巻1号
2. 論文標題 文部科学省「公立学校教職員の人事行政状況調査」を読む(その3)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学校メンタルヘルス（日本学校メンタルヘルス学会）	6. 最初と最後の頁 143-146
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤晴雄	4. 巻 3
2. 論文標題 地域形成に果たすコミュニティ・スクールの役割に関する実証的研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本学習社会学会編『学習社会研究』（学事出版）	6. 最初と最後の頁 34-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤晴雄	4. 巻 548
2. 論文標題 管理職に求められる学校の働き方マネジメント - 5. 保護者・地域との関係のマネジメント -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教職研修 (教育開発研究所)	6. 最初と最後の頁 30-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本剛	4. 巻 66巻7号
2. 論文標題 教師のコミュニケーションを「高める」とは	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育と医学 (慶応義塾大学出版会)	6. 最初と最後の頁 20-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 66巻7号
2. 論文標題 保護者とのコミュニケーション能力をどうやって高めるか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育と医学 (慶応義塾大学出版会)	6. 最初と最後の頁 28-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 南雅則、松本剛	4. 巻 11
2. 論文標題 中学校教師を対象としたPCAGIP法を用いた事例検討の効果に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北陸学院大学短期大学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 113 - 120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 第2巻
2. 論文標題 学校がかかえる近隣住民とのトラブルと新たな関係づくり 学校も地域住民の一人である	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本教育経営学会『講座現代の教育経営』（学文社）	6. 最初と最後の頁 181-191
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 2018
2. 論文標題 鼎談深志 生徒による近隣トラブル解決	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 長野の子ども白書編集委員会『長野の子ども白書』	6. 最初と最後の頁 98-101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 70巻2号
2. 論文標題 保護者対応トラブルと学校近隣トラブル	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一般社団法人生産技術振興協会『生産と技術』	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 32巻18号
2. 論文標題 部活動の苦情を生徒が解決する 近隣住民トラブルと運動部活動の自治	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 コーチング・クリニック（ベースボール・マガジン社）	6. 最初と最後の頁 78-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 871号
2. 論文標題 身構える、教師の心、壁つくる “子どもはいいけど、保護者はねえ...” と思っているあなたへ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 作文と教育（本の泉社）	6. 最初と最後の頁 6-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 18巻5号
2. 論文標題 傷ついた「モンスター」 クレーマーではないかもしれない	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 579-583
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 689号
2. 論文標題 迷惑施設としての学校	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 学校運営（学校運営研究会）	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利、勝井映子、加藤慶子、木下裕一、小西智子、三木憲明、横山巖	4. 巻 197号
2. 論文標題 （座談会）いじめ重大事態の第三者委員会の姿を問う	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法（エイデル研究所）	6. 最初と最後の頁 6-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 橋本典久	4. 巻 197号
2. 論文標題 近隣トラブル、騒音トラブルのエスカレート要因	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法(エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 108-117
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里、長澤哲也、坂口伊都	4. 巻 第197号
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク第5回	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法(エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 98-107
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里、長澤哲也、林聖子	4. 巻 198号
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク第6回	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法(エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 78-87
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里、坂口伊都	4. 巻 199号
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク第7回	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法(エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 64-73
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里、林聖子、坂口伊都	4. 巻 200号
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク最終回	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊教育法（エイデル研究所）	6. 最初と最後の頁 90-101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 198号
2. 論文標題 続・近隣トラブル、騒音トラブルのエスカレート要因	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法（エイデル研究所）	6. 最初と最後の頁 88-97
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 199号
2. 論文標題 近隣トラブルの解決は可能なのか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法（エイデル研究所）	6. 最初と最後の頁 74-83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 200号
2. 論文標題 騒音問題における迷惑と不寛容	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊教育法（エイデル研究所）	6. 最初と最後の頁 102-111
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 200号
2. 論文標題 (インタビュー)いじめ防止対策推進法の孕む課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊教育法(エイデル研究所)	6. 最初と最後の頁 18-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤晴雄	4. 巻 第2巻
2. 論文標題 コミュニティ・スクール構想と地域学校協働本部の教育経営	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本教育経営学会『講座現代の教育経営』(学文社)	6. 最初と最後の頁 124-134
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野田正人	4. 巻 19号
2. 論文標題 スクールソーシャルワーカーの「福祉に関する支援」から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 子どもの心と学校臨床(遠見書房)	6. 最初と最後の頁 33-42
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林正幸	4. 巻 73巻1号
2. 論文標題 自尊心を守るためのうそや隠しごと	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 児童心理(金子書房)	6. 最初と最後の頁 75-79
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林正幸	4. 巻 480号
2. 論文標題 教育相談から考える親と学校との関係づくり	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本教育（日本教育会）	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 真金薫子	4. 巻 6675号
2. 論文標題 あすの教育 真金薫子三楽病院精神神経科部長に聞く 依然として深刻な教員のメンタルヘルス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内外教育（時事通信社）	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀岡智美、瀧野揚三、野坂祐子、岩切昌宏、中村有吾、加藤寛	4. 巻 120巻3号
2. 論文標題 トラウマインフォームドケア：その歴史的展望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌（日本精神神経学会）	6. 最初と最後の頁 173-185
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和井田節子	4. 巻 72巻10号
2. 論文標題 教員の働き方を考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 児童心理（金子書房）	6. 最初と最後の頁 1137-1142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下晃一	4. 巻 25号
2. 論文標題 教育実践との関係性から見た教育制度研究の方法論的課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育制度学研究(紫峰図書)	6. 最初と最後の頁 169-173
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井肇	4. 巻 48巻12号
2. 論文標題 校則を巡り苦悩する教師たち：生徒の主体性と学校の規律保持との狭間で	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊生徒指導(学事出版)	6. 最初と最後の頁 26-30
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井肇	4. 巻 68巻10号
2. 論文標題 不登校・いじめ問題の危機管理体制を確立する学校経営	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小学校時報(第一公報社)	6. 最初と最後の頁 4-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 19号
2. 論文標題 子どもが主人公の学童保育の生活づくり	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 学童保育研究(日本学童保育士協会)	6. 最初と最後の頁 61-68
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 739号
2. 論文標題 通常学級での「インクルーシブ教育」を考える：三本の実践報告を手がかりに	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生活指導（全国生活指導研究協議会）	6. 最初と最後の頁 30-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 8号
2. 論文標題 学童保育におけるインクルーシブな集団づくりを考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本学童保育学会紀要	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本洋治、岩永定	4. 巻 137号
2. 論文標題 保護者・住民の学校経営参加に対する校長及び教員の意識に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本福祉大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 入澤充	4. 巻 51号
2. 論文標題 体罰裁判の問題点と体罰根絶への課題 体罰の不条理と教育の条理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 國土館法學	6. 最初と最後の頁 1-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 64巻4号
2. 論文標題 子どものいじめ・自殺の事後対策	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育展望	6. 最初と最後の頁 16-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 51巻4号
2. 論文標題 再び注目されはじめたヘリコプター・ペアレント	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊高校教育 (学事出版)	6. 最初と最後の頁 70-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川由紀子	4. 巻 臨時増刊
2. 論文標題 安心してみんなと育ちゆく毎日を提供する保育園	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ちいさいなかま	6. 最初と最後の頁 6-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上恵	4. 巻 21巻1号
2. 論文標題 学校メンタルヘルス向上のために	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本学校メンタルヘルス学会誌	6. 最初と最後の頁 129-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 毎月
2. 論文標題 保護者と手をつなぐためのヒント(毎月連載)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クレスコ(大月書店)	6. 最初と最後の頁 毎回2頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6579
2. 論文標題 難しくなる保護者対応トラブル(総論)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6604
2. 論文標題 難しくなる保護者対応トラブル(総論)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6606
2. 論文標題 難しくなる保護者対応トラブル(総論)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6608
2. 論文標題 難しくなる保護者対応トラブル(総論 )	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6611
2. 論文標題 難しくなる保護者対応トラブル(総論 )	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6613
2. 論文標題 難しくなる保護者対応トラブル(総論 )	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 内外教育(時事通信社)	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 入澤充	4. 巻 193
2. 論文標題 部活顧問の法的責任を伴った求償権訴訟	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 6-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 193
2. 論文標題 インタビュー 大分県立高校生熱射病死亡 二度と同じことをおこさないために	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 14-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 193
2. 論文標題 求償権訴訟で被告側が「守りたいもの」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 69-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 193
2. 論文標題 煩音問題としての近隣トラブル	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 94-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里	4. 巻 193
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク【第1回】	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 106-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 827
2. 論文標題 保護者は怖い!? だけど向き合うことで、つながれる部分がある	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生活教育 (日本生活教育連盟)	6. 最初と最後の頁 53-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下晃一	4. 巻 11巻1号
2. 論文標題 大阪府公立高等学校入学者選抜制度の変更過程にみる教育専門性の劣位化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要	6. 最初と最後の頁 121-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 70巻7号
2. 論文標題 親と向き合い、自分と向き合う 消耗しない保護者対応	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 小四教育技術 (小学館)	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 2017年4月
2. 論文標題 保健室に求められる保護者対応 (第2回) スポーツ振興センターの災害共済給付対象は拡大している	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 高校保健ニュース (少年写真新聞社)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 2017年5月
2. 論文標題 保健室に求められる保護者対応（第3回）私の「学校の保護者対応トラブル研究」の原点	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 高校保健ニュース（少年写真新聞社）	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧野揚三	4. 巻 なし
2. 論文標題 学校危機管理と学校福祉	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 鈴木庸裕『学校福祉とは何か』（ミネルヴァ書房）	6. 最初と最後の頁 108-129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 2017年10月
2. 論文標題 「諮問」から探る教員の「働き方」（2）教員の勤務 「本日の業務は終わりました」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 教職研修（教育開発研究所）	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 674
2. 論文標題 ステップアップかスキルアップか～教頭に必要なもの	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 学校運営（全国公立学校教頭会）	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 なし
2. 論文標題 第 部 第 1 章 学校メンタルヘルスと保護者	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本学校メンタルヘルス学会『学校メンタルヘルスハンドブック』（大修館書店）	6. 最初と最後の頁 244-258
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年4月
2. 論文標題 保護者とのいい関係（13）生きづらさを“つながる”力に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ（大月書店）	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年5月
2. 論文標題 保護者とのいい関係（14）わが子への「応答能力」（responsibility）を取り戻せる応援を	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ（大月書店）	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年6月
2. 論文標題 保護者とのいい関係（15）“ モンスターペアレント ” と言われた保護者が変わるとき	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ（大月書店）	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年7月
2. 論文標題 保護者とのいい関係づくり(16)発達障害の子どもの保護者との関係づくり	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ(大月書店)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年8月
2. 論文標題 保護者とのいい関係づくり(17)保護者を“クレーマー”と呼ぶ前に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ(大月書店)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年9月
2. 論文標題 保護者とのいい関係づくり(18)「よき親」イメージの取り込みへの援助を	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ(大月書店)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年10月
2. 論文標題 保護者とのいい関係(19)いちゃもん依存症を考える	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ(大月書店)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年11月
2. 論文標題 保護者とのいい関係 (20)妄想性障害が疑われる保護者との関わり	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ (大月書店)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楠凡之	4. 巻 2017年12月
2. 論文標題 保護者とのいい関係 (21)妄想性障害が疑われる保護者との関わり(その2)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 クレスコ (大月書店)	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利ほか	4. 巻 194
2. 論文標題 座談会 私たちも黙ってられない! 吹奏楽部の実態	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 48-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里・林聖子・坂口伊都	4. 巻 194
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク【第2回】	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 68-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 194
2. 論文標題 保育園の騒音問題、その正体とは	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 78-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤岡淳子・野坂祐子・小野田正利	4. 巻 195
2. 論文標題 鼎談 犯罪心理学者に訊く 教師の性暴力事案を少なくするために	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 6-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩田康之	4. 巻 195
2. 論文標題 教員養成段階で教師の不祥事は予防できるか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 40-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上麻紀	4. 巻 196
2. 論文標題 教員のメンタルヘルス不全と不祥事は、関係するか？	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 46-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 小野田正利ほか	4. 巻 196
2. 論文標題 座談会 教師の不祥事 起こす前、起こした跡(後)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 54-63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 196
2. 論文標題 都道府県・政令市教委による不祥事対策(研修)資料(手引き)の概況分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 64-66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里・長澤哲也	4. 巻 196
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク【第3回】	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 98-107
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 196
2. 論文標題 保育園建設反対問題への対応はどうあるべきか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 108-117
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利ほか	4. 巻 196
2. 論文標題 インタビュー 教働コラムズに聞く 部活動のここを見直してほしい	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 16-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 196
2. 論文標題 部活動と家計負担 「誰もが手軽に楽しめる」制度が消えていく	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 44-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木千里・林聖子	4. 巻 196
2. 論文標題 子どもに関わる法・法制度をふまえたスクールソーシャルワーク【第4回】	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 94-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本典久	4. 巻 196
2. 論文標題 騒音問題の時代変化と子どもの声・学校等騒音訴訟	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 104-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 真金薫子	4. 巻 197
2. 論文標題 精神科医の立場から (教師のSOS : メンタルヘルスを守る・支える) -- (教師とつながる・こころを支える)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 こころの科学	6. 最初と最後の頁 59-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 真金薫子	4. 巻 50巻11号
2. 論文標題 メンタルヘルス問題から考える「働き方改革」 (特集 教員の「働き方改革」を目指して)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 36-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井肇	4. 巻 197
2. 論文標題 教師という仕事と、陥りやすいこころの不調 (教師のSOS : メンタルヘルスを守る・支える) -- (教育現場で起こっていること)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 こころの科学	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 197
2. 論文標題 むずかしい親との付き合い : クレーム問題から考える (教師のSOS : メンタルヘルスを守る・支える) -- (教育現場で起こっていること)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 こころの科学	6. 最初と最後の頁 24-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 71巻18号
2. 論文標題 モンスター・ペアレントの「出現」：要求社会の中での学校対応（子ども問題の70年）--（平成時代の子どもたち）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 児童心理	6. 最初と最後の頁 113-117
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 71巻14号
2. 論文標題 親から敬遠される先生：「あなたのお子さんが大好き」という心で臨む親との面談を（特集 聞き上手な先生）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 児童心理	6. 最初と最後の頁 1184-1189
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 溝口るり子	4. 巻 197
2. 論文標題 教師の復職支援の現場から（教師のSOS：メンタルヘルスを守る・支える）--（教師とつながる・こころを支える）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 こころの科学	6. 最初と最後の頁 68-72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木憲明	4. 巻 63巻6号
2. 論文標題 子どもの最善の利益のためのスクールロイヤー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 峯本耕治	4. 巻 56巻2号
2. 論文標題 SSW視点、法的視点・危機管理的視点からの不登校支援「アセスメント・プランニング・チーム対応・機関連携の不可欠さ」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床心理学研究	6. 最初と最後の頁 44-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 23
2. 論文標題 保護者対応トラブルのステージが上がった！腹を据え、誠実に向き合う	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学校讃歌ブックレット号外23 (大阪大学人間科学研究科)	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻4号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(169)改善の兆しが見えない保護者対応トラブル(3)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻6号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(170)改善の兆しが見えない保護者対応トラブル(4)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻8号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(172)改善の兆しが見えない保護者対応トラブル(5)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 68-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻9号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(173)改善の兆しが見えない保護者対応トラブル(6)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 53巻12号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(176)知的障害児の一人通学指導を求める親の要求は過剰か	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 54巻1号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(178)生徒への進路変更勧奨と保護者	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 72-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 54巻2号
2. 論文標題 悲鳴をあげる学校：学校への要望、苦情そしてイチャモン(179)権利を持つ者と合意する	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 68-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6832
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第442回)スクールロイヤーは万能ではない(上)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6833
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第443回)スクールロイヤーは万能ではない(中)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6834
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第444回)スクールロイヤーは万能ではない(下)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6838
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第447回)志望校不合格で訴えられる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6840
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第448回)親として「普通の要求」か「過剰な要求」か	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6842
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第449回)保護者が教師を訴え返す(1)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6844
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第450回)保護者が教師を訴え返す(2)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6845
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第451回)保護者が教師を訴え返す(3)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6847
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第452回)保護者が教師を訴え返す(4)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6853
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第455回)文科省による2度目の「対応マニュアル」事例紹介	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6864
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第460回)外国人児童生徒向けの多言語対応教材	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6866
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第461回)保護者対応トラブルのステージが上がった!	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6867
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第462回)弱い立場にある内部告発者の思い	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6868
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第463回)テストやり直し要求	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6870
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第464回)いじめ法の放置から7年(1)「保護者間で争いが起きないように」って何?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6872
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第464回)いじめ法の放置から7年(2)いじめ「加害者」の保護者の行動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6882
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第471回)ディア・ペアレント	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野田正利	4. 巻 6902
2. 論文標題 普通の教師が生きる学校 モンスター・ペアレント論を超えて(第481回)なりたい職業として教師の人気低下の背景	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 内外教育	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和井田節子	4. 巻 73巻13号
2. 論文標題 学校が9段階のワークシートを活用し保護者ともめることなく問題解決を：保護者対応に備える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合教育技術	6. 最初と最後の頁 42-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山野則子	4. 巻 38巻1号
2. 論文標題 見えない貧困，子ども虐待などを背景にした子どもへの支援システム作り;スクリーニングの可能性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育システム情報学会誌	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川由紀子	4. 巻 307号
2. 論文標題 私のターニングポイント 子どもの気持ちがわかる先生になりたかった	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 季刊保育問題研究	6. 最初と最後の頁 119-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井肇	4. 巻 50巻4号
2. 論文標題 生徒指導の危機を乗り越えるために：あらためて教員の力量について考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊生徒指導	6. 最初と最後の頁 19-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林正幸	4. 巻 72巻7号
2. 論文標題 保護者の立場から看護職に向けて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 看護 (日本看護協会機関誌)	6. 最初と最後の頁 60-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋崎政男	4. 巻 66巻9号
2. 論文標題 生徒指導の危機管理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育展望	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鬼澤秀昌、小野田正利、嶋崎政男	4. 巻 205号
2. 論文標題 鼎談 どうなる! いじめ防止対策推進法	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 80-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上麻紀	4. 巻 34巻7号
2. 論文標題 「24時間教員」休業のススメ(第15回)未曾有の事態を乗り切るヒント	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊学校教育相談	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 井上麻紀
2. 発表標題 自閉症スペクトラム傾向を持つ女性との心理面接過程
3. 学会等名 精神分析的な心理療法フォーラム第7回
4. 発表年 2018年

## 〔図書〕 計20件

1. 著者名 山野 則子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 288
3. 書名 子どもの貧困調査	
1. 著者名 嶋崎政男	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学事出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 図説・例解 生徒指導史 少年非行・いじめ・不登校等の歴史から学ぶ生徒指導	
1. 著者名 佐藤晴雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 エイデル研究所	5. 総ページ数 223
3. 書名 コミュニティ・スクール 増補改訂版 「地域とともにある学校づくり」の実現のために	
1. 著者名 心理科学研究会（西川由紀子）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 316
3. 書名 新・育ちあう乳幼児心理学	

1. 著者名 関根眞一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メデュケーション株式会社	5. 総ページ数 DVD版
3. 書名 日本苦情白書	

1. 著者名 山野 則子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 264
3. 書名 学校プラットフォーム	

1. 著者名 菅原哲朗、入澤充	4. 発行年 2018年
2. 出版社 道和書院	5. 総ページ数 272
3. 書名 養護教諭の職務と法的責任	

1. 著者名 鈴木庸裕・丹波史紀・村井琢哉・古関勝則・佐々木千里（研究協力者）・梅山佐和・朝日華子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 144
3. 書名 子どもの貧困に向き合える学校づくり	

1. 著者名 坂中正義編著、田村隆一・松本剛（研究分担者）・岡村達也	4. 発行年 2017年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 212
3. 書名 傾聴の心理学 P C Aを学ぶ	

1. 著者名 古川治・今西幸蔵・五百住満	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 250
3. 書名 教師のための教育法規・教育行政入門	

1. 著者名 真金薫子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 時事通信社	5. 総ページ数 235
3. 書名 月曜日がつらい先生たちへ 不安が消えるストレスマネジメント	

1. 著者名 小野田正利	4. 発行年 2017年
2. 出版社 時事通信社	5. 総ページ数 204
3. 書名 「迷惑施設」としての学校 近隣トラブル解決の処方箋	



1. 著者名 古川治	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大阪大学大学院・人間科学研究科・教育制度学研究室・小野田正利	5. 総ページ数 98
3. 書名 学校保護者問題の歴史と解決への展望 草分け的研究者へのインタビューを通して	

1. 著者名 古川治	4. 発行年 2021年
2. 出版社 大阪大学大学院・人間科学研究科・教育制度学研究室	5. 総ページ数 48
3. 書名 学校保護者問題の歴史と解決への展望No. 2 - 実務家・研究者へのインタビューを通して	

1. 著者名 山岡賢三	4. 発行年 2021年
2. 出版社 大阪教育大学、山岡賢三	5. 総ページ数 61
3. 書名 保護者対応校内研修のススメ	

1. 著者名 くまゆうこ、小野田 正利、鬼澤 秀昌	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋館出版社	5. 総ページ数 104
3. 書名 学校あるあるトラブル18 保護者のお悩み解決します！	

1. 著者名 遠藤 久夫、野田 正人、藤間 公太、国立社会保障・人口問題研究所	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 216
3. 書名 児童相談所の役割と課題	

1. 著者名 小林正幸、嶋崎政男	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ぎょうせい	5. 総ページ数 321
3. 書名 四訂版 もうひとりで悩まないで! 教師・親のための 子ども相談機関利用ガイド	

1. 著者名 マリアヌ・ブランシャル、ジョアニ・カユエット＝ランブリエール、園山 大祐、田川 千尋	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 232
3. 書名 学校の社会学	

1. 著者名 園山 大祐	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 学校を離れる若者たち	

〔産業財産権〕

〔その他〕

イチャモン研究会  
<http://ichamon.com/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐藤 晴雄  (Sato Haruo)  (00245995)	日本大学・文理学部・教授    (32665)	
研究分担者	野田 正人  (Noda Masato)  (10218331)	立命館大学・人間科学研究科・教授    (34315)	
研究分担者	古川 治  (Furukawa Osamu)  (10425382)	桃山学院教育大学・教育学部・客員教授    (34430)	
研究分担者	楠 凡之  (Kusunoki Hiroyuki)  (30244776)	北九州市立大学・文学部・教授    (27101)	
研究分担者	松本 剛  (Tsuyoshi Matsumoto)  (30330111)	兵庫教育大学・学校教育研究科・教授    (14503)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	和井田 節子  (Waide Setsuko)  (30510804)	共栄大学・教育学部・教授    (32420)	
研究分担者	岩田 康之  (Iwata Yasuyuki)  (40334461)	東京学芸大学・次世代教育研究センター・教授    (12604)	
研究分担者	岩切 昌宏  (Iwakiri Masahiro)  (50283841)	大阪教育大学・教育学部・准教授    (14403)	
研究分担者	山野 則子  (Yamano Noriko)  (50342217)	大阪府立大学・人間社会システム科学研究科・教授    (24403)	
研究分担者	瀧野 揚三  (Takino Yozo)  (60206919)	大阪教育大学・教育学部・教授    (14403)	
研究分担者	西川 由紀子  (Nishikawa Yukiko)  (60249365)	京都華頂大学・現代家政学部現代家政学科・教授    (34325)	
研究分担者	新井 肇  (Arai Hajime)  (60432580)	関西外国語大学・外国語学部・教授    (34418)	
研究分担者	小林 正幸  (Kobayashi Masayuki)  (70272622)	東京学芸大学・特別支援教育・教育臨床サポートセンター・教授    (12604)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	園山 大祐 (Sonoyama Daisuke) (80315308)	大阪大学・人間科学研究科・教授  (14401)	
研究分担者	山下 晃一 (Yamashita Koichi) (80324987)	神戸大学・人間発達環境学研究科・准教授  (14501)	
研究分担者	入澤 充 (Irisawa Mitsuru) (90307661)	国土館大学・法学部・教授  (32616)	
研究分担者	山岡 賢三 (Yamaoka Kenzo) (10880635)	大阪教育大学・教育学部・教授  (14403)	
研究分担者	佐々木 千里 (Sasaki Chisato) (40818291)	名古屋市立大学・大学院人間文化研究科・研究員  (23903)	
研究分担者	岩永 定 (Iwanaga Sadamu) (90160126)	熊本大学・大学院教育学研究科・教授  (17401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

--	--	--	--	--